

# 1. 調査報告概要表

作成日 平成 19年9月15日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2672700313
法人名	医療法人弘愛会西村内科
事業所名	医療法人弘愛会西村内科 グループホームさくらプラザ倉梯
所在地	舞鶴市倉梯中町3-2 (電話) 0773-63-2130

評価機関名	特定非営利活動法人 市民生活総合サポートセンター		
所在地	大阪市北区天満橋2丁目北1番21号八千代ビル東館9階		
訪問調査日	平成19年8月28日	評価確定日	平成19年10月17日

## 【情報提供票より】( 19年7月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 12 月 25 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 3 人, 非常勤 7 人, 常勤換算6.5 人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋造り	
	2 階建ての	2 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	48,000 円	その他の経費(月額)	31,200 円	
敷 金	有( 円) (無)			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 150,000円)	有りの場合 償却の有無	有(無)	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	450 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

### (4) 利用者の概要( 7月 1日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1	2 名	要介護2	4 名			
要介護3	1 名	要介護4	2 名			
要介護5	名		要支援2	名		
年齢	平均	86.4 歳	最低	68 歳	最高	93 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	(独)国立病院機構舞鶴医療センター、(医)弘愛会西村内科
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

医療法人が運営するグループホームで1階がデイサービスの2階に立地しています。入居者と職員の信頼関係を大切にしており、入居者のペース、思いにそった支援がされるべく、管理者は日々のケアの中での指導や認知症についての勉強会、研修に力を入れて、「一緒に、ゆったり、楽しく共同生活」の理念を基に職員はケアサービスを実践しています。ケアプランについてもカンファレンスにより担当者が作成し、職員全員で確認、共有しながら、日々のモニタリングを行い、記録の工夫を話し合いながら実施されています。また、医療法人である特性を活かし、週に4、5回、医師や看護師の往診、訪問があり、24時間体制での連絡も可能で、ターミナルケアもされており、また、年に2回の歯科検診も実施され安心出来る体制が整えられています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善事項である、権利・義務の書類への明示、タオルをペーパータオルに変更した点、洗剤など危険物の管理について職員間で話し合い、出来る事から改善されています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	今回の自己評価については、会議の際にみんなで意見を出し合い、管理者がまとめています。自己評価を通して、職員はケア意識の向上がされています。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	入居者、家族、婦人会会長、市役所職員が参加する運営推進会議では活発な意見交換が行われており、地域との関わりにおいて、ボランティアの募集や小学校との交流の計画がされ有意義な会議となっています。市職員の方とは市主催のグループホームを対象にした研修内容についての要望を聞いてもらったり、ホーム側から相談をしたり、密な関係ができています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	家族がホームに来られた際や電話にてコミュニケーションをとり要望や意見を聞いています。また、年1回の家族を交えた行事やご意見箱の設置、書類にて公的機関を含む苦情相談窓口が明確にして、意見を出せる機会をつくっています。苦情等あった場合については職員等で話し合い、対応しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域の方との交流を大切にされており、介護に関する情報の提供や町内会に加入し、敬老会に参加したり、近くの保育園の運動会を観に行ったり、入居者が玉入れに参加したりしています。また、小学校の授業の一環としてホームに小学生が来て、入居者と交流もしています。

## 2. 調査報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	グループホーム理念の中に入居者が地域の中で生活していく事を支援する内容が盛り込まれている。また、標語として「いっしょに ゆったり 楽しい共同生活」が掲げられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	ホーム内のすぐ目につくところに掲示されており、携帯用ですぐ理念が確認出来るようにカードにされています。管理者は月1回のミーティングや日々のケアの中で職員に理念に基づいた話をしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、敬老会に参加したり、近くの保育園の運動会を観に行ったり、入居者が玉入れに参加したりしている。また、小学校の授業の一環としてホームに小学生が来て、入居者と交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価の改善事項、権利・義務の書類への明示、トイレのタオルや洗剤管理など職員で話し合い出来る事から改善されている。今回の自己評価については、会議の際にみんなで意見を出し合い、管理者がまとめている。自己評価を通して、職員はケア意識の向上がされている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	入居者、家族、婦人会会長、市役所職員が参加する運営推進会議では活発な意見交換が行われており、地域との関わりにおいて、ボランティアの募集や小学校との交流の計画がされ有意義な会議としている。		

グループホームさくらプラザ倉梯

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市職員の方とは市主催のグループホームを対象にした研修内容についての要望を聞いてもらったり、ホーム側から相談をしたり、密な関係が出来ている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	暮らしぶりは健康状態は家族がホームに来られた際や電話にて状況に応じて報告している。行事毎に写真を一覧にしたものを作成し、家族に送付している。金銭管理については立替方式をとっており、法人より請求している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族がホームに来られた際や年1回の家族を交えた行事にて気軽に相談や要望を聞ける体制を取っている。また、ご意見箱を1階入口に設置されており、重説には公的機関を含む苦情相談窓口が明確にされている。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員でのケアの重要性を考慮しており、職員のストレス緩和や認知症の理解を深めるため研修受講を支援している。また、実際新しい職員が入る場合はベテラン職員がついて関わり方を工夫している。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	認知症についての勉強会、研修に力を入れている。法人内研修、グループホーム連絡会などの外部研修を受講し、研修受講後は会議にて報告をしている。	○	限られた職員体制の中で、法人、職員と話し合いをしながら研修の位置づけを工夫し、段階に応じた研修、事業所としての計画が今後期待される。
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に加盟して、勉強会や困難事例検討会、職員交換研修を通して交流を図り、サービスの質の向上に取り組んでいる。		

グループホームさくらプラザ倉梯

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	日帰りから、泊まりで様子を見ながら、家族と相談し、その方に応じた支援がされている。入居された後も家族と連絡を密にし、相談しながら馴染めるように工夫している。また、同法人の別サービスからの馴染みの関係での利用もある。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日常生活の中で調理や掃除の仕方の方法を聞いたり、入居者から教えてもらう場面を大切にしている。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式にて一人ひとり把握に努め、個人の思いを大切に、日常会話から希望を聞いてミーティング等で職員間で情報の共有をしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居者、家族の要望が記載されており、職員の意見は毎月のミーティングにて意見交換が行われている。それを基に担当職員がニーズに基づいてケアプランを作成し、計画作成者が仕上げている。出来上がったケアプランは全員でさらに確認している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月ごとにカンファレンスを行い、ケアプランの見直しされている。また、入居者の状況の変化があったときにも同様に見直しされている。		

グループホームさくらプラザ倉梯

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者、家族の要望や状況に応じて通院に付き添ったり、個別外出にて美容院や自宅に帰られたり柔軟な支援をしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に入居者、本人と相談の上希望のかかりつけ医を決めている。また、医療法人の特性を活かし医師である法人理事長の往診や看護師が週に4、5回来られ、健康管理がされている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居者時に終末期の本人、家族の意向を確認している。実際にターミナルケアに入る場合は家族、医師、看護師、職員と話し合いを繰り返しながら支援している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員の言葉遣い、言葉掛けに配慮し、管理者は徹底して指導している。また、個人情報事務所の鍵の掛かるところに保管されており、持ち出し禁止している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの思いや体調に合わせて支援出来るようにしている。職員間においても話し合いを持っている。		

グループホームさくらプラザ倉梯

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立から入居者と一緒に決めて、1日2回買物に行き、出来る範囲での調理をや配膳、後片付けを行っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、朝9:00～20:00まで入浴が可能であり、入居者の希望やタイミングに合わせて支援している。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	生活歴を活かし、得意分野で力を発揮してもらえるようにズボンの裾直しや書道、茶道、折り紙、日常の家事などを支援している。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	1日2回の買物や外出の支援がされていますが、現在散歩になかなか行けていません。	○	入居者の希望に合わせた移動の配慮をしながら、短時間での戸外に出る機会を工夫し、日々の中でケアに活かしていく事が期待される。
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ホームに玄関について開放する方向で法人、職員間で話われているが電子錠のため現在は中からは出れない状態である。	○	現在開放する方向で話し合いが進められており、見守り配置の工夫など鍵を掛けずに安全で自由な暮らしが出来る方法が検討されている。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	1年に2回避難の実施を行っている。近隣の交番や消防団にも情報提供を行い協力を得ている。	○	事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながらの避難訓練や運営推進会議にて協力を呼びかけていく事が期待される。

グループホームさくらプラザ倉梯

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量に関しては全員記録されている。水分は摂取しやすいようお茶を置いたり工夫している。食事の献立は管理栄養士に毎月チェックしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者の手作りの飾りや書道などの作品、写真が飾られており温かみがある空間作りが工夫されている。蛍光灯は直接光があたらないように工夫されている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	使い慣れた水屋、タンス、テーブル、テレビ、大切にされている仏壇など持ち込まれている。また、写真を飾ったり居心地の良い居室づくりがされている。		